

ドイツ、ハンブルク市のレンタサイクル「StadtRAD Hamburg」が開始

ドイツ北部の中核都市ハンブルクにて、「StadtRAD Hamburg」という新しいレンタサイクルが今年7月10日から開始された。同市中心部67箇所の貸出所に専用ターミナルと自転車が設置され、今年中には貸出場所70箇所、レンタサイクル計1,000台の体制となる予定である。

1. 目的

ハンブルク市中心部の大規模居住地域や商業地域、主要観光地やレジャー施設に接する地下鉄及びドイツ鉄道の各駅に貸出所をきめ細かく配置し、市内において自転車利用が容易な環境を設けることにより、地域の自転車交通量を倍増させることを目指している。このレンタサイクルは、同市の自転車施策上重要な役割を果たすものと期待されている。

2. システム運営

このレンタサイクルのシステムは、施設運営が比較的容易で費用効率もよく、利用者にとっても快適で環境にも優しいものである。器材はドイツ鉄道(DB)の関連会社DBレント社がドイツ各地で貸出業務を実施している「Call a bike」と同じ自転車を利用しており、同市専用の赤色に塗装されている。なお、実際のレンタサイクル運営にあたってはDBレントの協力のもと行われている。

3. 利用方法と料金

StadtRAD Hamburgのホームページ上で、利用登録することにより、いつでも電話又は貸出所にあるターミナルにてクレジットカードまたは、銀行のキャッシュカード(デビットカード)払いにより利用可能である。貸出・返却手続きの所要時間は、僅か1分ほどである。

料金は、利用開始から30分までは無料。利用時間31分～60分間は、1分当たり4セントの料金がかかる。次いで61分からは、1分当たり8セントの料金となる。よって最初の1時間当たりの利用料は1.20ユーロとなる。DBの年間利用者カードや市交通(HVV)年間カード所持者は、そのカードの種類に応じて1分当たり3～6セントの割引がある。1日の利用料金は、最大12ユーロまでとなっている。事故に備えてこれら利用料金には保険料も予め含まれている。

以 上

出所；「StadtRAD Hamburg」2009年7月11日付プレスリリース

(デュッセルドルフ事務所)

StadtRAD Hamburg



(写真出所 ; StadtRAD Hamburg)



(写真出所 ; bsu)

参考 ; DB レント「Call a bike」



(2007年6月ミュンヘン)